

株主様向け会社説明会 開催概要

株主のみなさまとの対話を目的とした会社説明会を大阪で開催しました。社長の澤田から2019年の活動方針、技術イノベーション、非財務活動などについて説明した後、株主のみなさまからのご質問にお答えしました。

開催概要

日時: 2019年6月8日(土) 14時~16時

開催場所: 花王株式会社 大阪事業場

出席者数: 応募申込みの中から当選された株主の方 80名

出席役員: 代表取締役 社長執行役員 澤田 道隆 他取締役及び執行役員 6名



質疑応答要旨

1. 研究開発の体制と、優秀な人材をどう確保しているかお聞きしたい。

花王の研究開発は、商品を担当する研究と基盤技術を担当する研究のマトリックス運営を核としている。基盤技術開発は事業部に直結していないため、生まれてきた1つの技術を、ジャンルの垣根を超えて様々な商品に使うことができる。また、今年から人材開発担当となった社長執行役員も含めて、人材開発、報酬・昇給制度などについて、これまでとは違った視点での議論を行っている。

2. 当社の技術をより分かりやすく伝える広告宣伝が必要ではないか？

製品や技術の価値を消費者の皆さまにどう伝えるか、価値伝達は非常に有用なテーマ。製品の良さをアピールするモノ起点の商業チャネルではなく、消費者の皆さまがライフスタイルの中でお困りの点を当社製品が解決するという、消費者起点での価値を伝えることが重要だ。また、スマートフォンなどの様々なデジタル機器が溢れる現代社会では、体験型マーケティングやイベントなどを行うと、口コミで情報が広がっていく。企業側ではなく、消費者自身による情報発信を活用させていただくことも必要だ。

3. プラスチック容器やCO2削減に関する取組みについてお聞きしたい。

最近プラスチック廃棄問題だけが注目され、地球温暖化が忘れられているのではないかという危機感を感じる。例えば再生容器に必要なエネルギーは膨大で、容器を一から作るよりも遥かに多くのCO2が排出される。一方でプラスチックは焼却処理すると熱エネルギーとなる。プラスチック廃棄だけではなく、CO2排出量や地球温暖化も踏まえ、総合的な検討を行う必要がある。最も重要な3R、つまりReduce、Reuse、Recycleを核とし、プラスチックの良さを活かしつつもできるだけ減らしていく。これをきちんと行った上で、生分解性樹脂や紙などへのReplaceを行っていききたい。

4. 当社は女性が働き甲斐を持てる会社として先進的な会社だが、現状の女性管理職の割合や、女性役員登用についての考え方をお聞きしたい。

女性管理職比率は国内が18%、海外が48%、グローバルで27%。役員については今年の株主総会で

取締役と監査役に1名ずつ女性が就任した。執行役員は27名の内女性は1名であるため、今後より積極的に登用していきたい。ただ、女性が社長を務める大規模な子会社も国内外で増えてきており、幹部候補の女性は多い。課題は結婚・育児・介護などの際に、どれだけ当社が社員目線でサポートできるか。アジアでは、女性が出産後2～3ヶ月の休暇のみで職場復帰している例も多い。その裏ではベビーシッターやハウスキーパーが支えている。当社として補助を行うなど、女性が更に活躍できる仕組み作りに取り組んでいきたい。

以上